

## 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度シラバス

科目名 (英)	DJ・アナウンス DJ・Announcement)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高橋 みつる
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。          ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティ、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。          原稿読みを通して、伝える技術を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	標準語、標準アクセントの定義を理解し、説明することが出来る
2回目	アクセントの種類を理解出来るようになる
3回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	尾高形の名詞+「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う①
13回目	アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う②
14回目	前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごす必要があります。
評価方法	①定期テスト:50% ②課題成果:40% ③授業態度、参加度10%
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎(いしずえ)となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根ごこの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          アクセント辞典</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度シラバス

科目名 (英)	DJ・アナウンス DJ・Announcement)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高橋 みつる
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。          ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。          原稿読みを通して、伝える技術を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返りを行う。
2回目	実践的な原稿を使用して、アクセントの種類を理解し、説明することが出来る
3回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	実践的な原稿を使用して、撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	実践的な原稿を使用して、長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	実践的な原稿を使用して、尾高形の名詞+「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	実践的な原稿を使用して、平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	実践的な原稿を使用して、起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う①
13回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う②
14回目	実践的な原稿を使用して、前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごす必要があります。
評価方法	①定期テスト:50% ②課題成果:40% ③授業態度、参加度10%
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎(いしずえ)となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根ごこの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          アクセント辞典</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度シラバス

科目名 (英)	DJ・アナウンス DJ・Announcement)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高橋 みつる
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日1・2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          アナウンスメント(告知・発表)は、あらゆる表現に通じる基礎的技術のひとつです。この授業では、様々な種類の原稿読みを通して、アナウンスメントを理解し、表現能力を高めます。          ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p>【到達目標】          原稿読みを通して、伝える技術を高めるだけでなく、逐次アクセントや発音をチェックし、習得する。          アナウンスメントの理解と共に、自らでも原稿が書けるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	場内アナウンス① 安定した声とアクセントで原稿が読めるようになる
2回目	場内アナウンス② 複合語・数詞のアクセントに留意して原稿が読めるようになる
3回目	車内アナウンス① 並列の言葉のイントネーションに留意して原稿が読めるようになる
4回目	車内アナウンス② 重母音の発音に留意して原稿が読めるようになる
5回目	名古屋市からのお知らせ① 鼻濁音と母音無声化に留意して原稿が読めるようになる
6回目	名古屋市からのお知らせ② 長い複合語のアクセント、イントネーションに留意して原稿が読めるようになる
7回目	インフォメーション① プロミネンスの箇所に留意して原稿が読めるようになる
8回目	インフォメーション② 読み手を明確にした際の、情報発信力と主体性に留意して原稿が読めるようになる
9回目	交通情報① 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
10回目	交通情報② 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
11回目	天気予報① 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
12回目	天気予報② 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
13回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごすことが必要です。また苦手な発音を見つけたら、集中してトレーニングするなど、日々の意識で必ず変化します。
評価方法	①定期テスト(50%) ②課題成果(40%) ③授業態度、出席率(10%)
受講生への メッセージ	個性のある読み方と、クセのある読み方は、似て非なるものです。長い間かけて身につけてしまった悪いクセは、意識的に時間をかけないと抜けません。アナウンスメントの授業では、ある時は徹底的に「素読み」したり、とことん速度を落として読んだり。その過程で自らのクセを浮かび上がらせ、改善へと導いていきます。一番の近道は「地道」です！頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	DJ・アナウンス DJ・Announcement)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高橋 みつる
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日1・2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          声を使う仕事をする者にとって必要な、原稿を読むという基本を繰り返し練習することでしっかり身に着ける。          ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p>【到達目標】          発声、滑舌、アクセントなど基本に則り日本語の正しいリズムを覚える。          ニュース、CM、長尺などいろいろな原稿を読む、表現することを学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	アクセント、滑舌、外郎売りなど発声練習の再確認を行い、出来るようになる。
2回目	発声練習として外郎売り。1週目の続き。ニュース、天気概況など感情を入れない原稿が読めるようになる。
3回目	スタジオ、マイク、カフなど機材に慣れるためにも録音する。それを聞いて自分の読みが出来るようになる。よりよくするためにはどうしたらいいかを考える。また、他の人の読みを聞く耳を育てる。
4回目	CMのナレーションは20秒という限られた時間の中で商品を最大限にアピールするためにどう読むかということを考えなければならない。そのための工夫をすること。また個性を出せるかを出来るようになる。
5回目	4週目に引き続き、よりよいCMにするために考えて読めるようになる。
6回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMIに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
7回目	CMのナレーションは1種類だけではない。商品や書き手の意図、どう伝えてほしいかというところを短い時間の中で汲み取り、その表現が出来るようになる。
8回目	7週目の続き。自分なりにいろいろ工夫して読めるようになる。
9回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMIに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
10回目	ニュース、CMに限らず詩や物語などいろいろな種類の原稿を読めるようになる。
11回目	基本は忘れず、常に自分なりの読み、表現を探る。
12回目	ここまで学習したことを思い出しながら、一音一音を大事にしっかり発音するよう心掛けて読めるようになる。聞き手にしっかり伝えられる表現者になるように自分の読みを把握し、さらに修正し、より良くしていく。
13回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	授業開始前に外郎売りで発声練習をしておくこと。 わからないアクセントは辞書を使って調べておくこと。
評価方法	①出席率(40%) ②課題成果(40%) ③試験(20%)
受講生への メッセージ	基礎は繰り返し練習で楽しくないかもしれませんが大事です。 長く喋りの仕事をしていけるように、きちんと身に付けてほしいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	( ヒップホップ HIPHOP )	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日2・3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。 ※実務者経験：ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダンスに対するガイダンス&オリエンテーション・音を知ることができるようになる
2回目	音を知る、音を作る(リズム・グルーブ)8・16・32ビート、表と裏、UP、DOWN、SIDE、前後斜めのノリ、グルーブをつくるには、ループからの裏切り、タイミング、テンポを身につけることができる
3回目	ボディコントロール、自然のカノ胸、腰、首、肩のアイソレーション、運動、パワーのON・OFF、慣性の法則、遠心力、浮力、動、反発力、張力を身につけることができる
4回目	音を作る、音質、ニュアンス/アクセント、強、クイック、ストップ、カウンターパワー、スローパワー、スピードorパワークイックストップ・クイックスロー→ストップができるようになる
5回目	音を作る、重さ、ノーカウント/スピード→一定のスピードをキープする。足首の使い方、視覚→動き方を残像にすることができるようになる
6回目	精神、右脳を使う/思考⇔感じる、内部と外部のイメージ イメージ→表現、形を音に合わせる、感覚を音に合わせてフリースタイル、インプロ、コア、核、ボディコントロール、クリエイト、マインドコントロールを身につけることができる
7回目	グルーブトレーニング/パーカッションの練習、パーツチョイスができるようになる
8回目	重さトレーニング/スピード、タイミング、視覚的、三種の視点からトレーニングができるようになる
9回目	フリースタイル/音に何を合わせるのか?を身につけることができる。
10回目	フリースタイル/感覚、動き、形、イメージ、感情、パワー、筋肉収縮ストレッチを身につけることができる
11回目	教え方をマスターする/形、動き、音、イメージを説明できる。
12回目	教え方をマスターする/感覚、コツ、メカニズムを説明できる。
13回目	メインムーヴ+サブムーヴ=振付ができるようになる。
14回目	総合/音、身体、精神で必要な技術をルーティンでできるようになる。
15回目	前期テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体するのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にする。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日2・3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態でどのように動かすかを身につけることができる。 ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーマーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方を身につけることができる
2回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方、パズルのような思考を身につけることができる
3回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
4回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
5回目	身体の中身だけではなく、外部を意識したダンスを身につけることができる
6回目	外部を表現することにより、空間を利用し大きな見せ方を身につけることができる
7回目	小道具を使ってエンターテインメント性を高めることができるようになる。
8回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
9回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
10回目	リズムを作り出す為、両手によりリズムを出してセッションすることができるようになる。
11回目	作品創りのノウハウ、音の構成と作品の構成、6人チーム×5による創作
12回目	作品創りのノウハウを身につけることができる
13回目	音の構成と作品の構成の説明ができる
14回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
15回目	前期テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体するのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にする。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日2・3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。          ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012~2014年、フロリダディズニワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。</p>							
<p>【到達目標】          教え方、作品の創り方をマスターすることができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	重さ、音にのる/ダンスを楽しむ、考え方を再確認、ルーティーン、技術を身につけることができる
2回目	フリースタイルでの考え方/何を音に合わせるのか、ルーティーン、技術を身につけることができる
3回目	揃える/揃える為にする事、何を揃えるか、形、動き、ベクトル、スピード、ニュアンス、アクセント、気持ち、テンション、イメージ、何をどの方向に、どのようにするかを説明できる
4回目	音に感覚を合わせる/力、収縮、ストレッチ、脱力、振動、イメージ、遠心力、フィーリングダンス、音表現を身につけることができる
5回目	作品制作・3D/3Dに見せる方法、High & Low、回転、移動、音の構成、リズム作り、ボディパーカッション、作品の構成ができるようになる
6回目	作品制作・3D/ユニゾン、シンメ、ソロ、パート、ジャンル、グルーヴ、音質、テンション、ケール、表現方法を身につけることができる
7回目	作品制作・3D/フォーメーション、移動、High & Low、雰囲気、ロール、アトオン、2人組で踊ることを身につけることができる
8回目	ジャッジトレーニング/振付、ダンサー、ジャッジの3組に分かれ学生による振付作品を学生がジャッジしコンテストを実施できるようになる
9回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を作品創りに活かすことができるようになる
10回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を理解し説明できるようになる
11回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解できるようになる
12回目	ジャッジトレーニング/ダンスの動きについて説明することができる
13回目	ジャッジトレーニング/レベルアップに活かすことができるようになる
14回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解することにより技術点の高い作品を創作できるようになる
15回目	テスト/技術を動視したダンスを作成し発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得する。
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日2・3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。          ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。</p>							
<p>【到達目標】          教え方、作品の創り方、自分自身以外をコントロールする、揃え方をマスターすることができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	学生がインストラクターになり、レッスンを進め、その内容を評価することができる
2回目	インストラクターとしての指導ノウハウとして、形・動き・音・イメージ・感覚・メカニズムを考えレッスンを行うことができるようになる
3回目	インストラクターとしてのレッスンの流れや指導方法、喋り方を身につけることができる
4回目	ダンステクニックの収縮・ストレッチ・脱力・気力を身につけることができる
5回目	ダンステクニックの・振動・イメージ・遠心力の感覚をつかみ身につけることができる
6回目	右脳を使ってイメージ力をUPすることを身につけることができる
7回目	右脳の特性を理解し、音のイメージを身体で表現することができるようになる
8回目	右脳開発。作品の流れを構成し、具体的な動きを創ることができるようになる
9回目	これまでに学んだダンスに必要な要素を取り入れ、大切にし、振付をすることができるようになる
10回目	これまでに学んだあらゆるカテゴリーを意識してダンスをすることができるようになる
11回目	踊る・仕切る・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
12回目	教える・従う・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
13回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
14回目	学生による創作と発表をし、評価に基づき迅速に修正をすることができるようになる
15回目	テスト/2年間学んだダンスに必要な要素を取り入れ、自身で振付をしたダンスを発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得することができる。
【使用教科書・教材・参考書】	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	三和 宗久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日4限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          SNS全盛の時代である現在は、端末機器のみで制作から投稿・拡散まで完結させることも難しくありません。この授業ではiPadを使用して映像や音源を制作しYouTubeに投稿をしたり、DAW(おもにProTools)を使用して音声の編集や作品制作をします。また著作権についての基礎知識を習得します。          ※実務者経験：専門学校、大学等でPC・Macに関する授業を約10年行う。音源制作スタジオギビン代表          主業務は音源(原盤)制作、作編曲、ライブサポート、マネジメント、映像制作、WEBデザインを手がける</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ITリテラシーと著作権に関する基礎知識を習得する。iPadを使用した映像および音源制作実習。DAW等アプリを使用して作品を制作する。          &lt;具体的な目標&gt;          目標① SNS時代のITリテラシーと著作物に関する権利について説明できる          目標② iPadを使用して映像作品や音源を制作し、YouTubeに投稿する          目標③ DAW(ProTools等)を使用して、音声の編集ができるようになる</p>							

授業計画・内容	
1回目	(目標①) 著作物の権利について説明できるようになる
2回目	(目標①) 著作物の権利について説明できるようになる
3回目	(目標②) 投稿用のアカウントを取得。iMovieの概要について説明できる
4回目	(目標②) iMovieの基本的な操作について実習を行い、出来るようになる
5回目	(目標②) iMovieにおける動画の編集方法を説明できる
6回目	(目標②) iCloudにデータを保存する。GarageBandの概要について説明できる
7回目	(目標②) GarageBandの基本的な操作について実習を行い、出来るようになる
8回目	(目標②) GarageBandを使用して音源制作の実習を行い、出来るようになる
9回目	(目標③) ProToolsの概要について説明できるようになる
10回目	(目標③) ProToolsの基本的な操作について実習を行い、出来るようになる
11回目	(目標③) ProToolsを使用してサンプリングの実習を行い、出来るようになる①
12回目	(目標③) ProToolsを使用してサンプリングの実習を行い、出来るようになる②
13回目	(目標③) ProToolsを使用して素材の編集を行い、出来るようになる①
14回目	(目標③) ProToolsを使用して素材の編集を行い、出来るようになる②
15回目	(まとめ) 作品を制作し、YouTubeに投稿する
準備学習 時間外学習	<p>前提: この授業を受けるにはApple IDの取得が不可欠です。            またYouTubeへの投稿をもって評価の一部とするので、そのためのgoogleアカウントも必要です。            作品制作: 提出用作品を作る際の素材(動画、音声等)は事前に用意しておいてください</p>
評価方法	<p>投稿作品を課題成果として知識・技能の到達評価を行う。            さらに、制作方法・意図についてのプレゼンテーションおよびレポート提出を加味し割合で評価を行う。            ●レポート50%            ●課題成果50%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅力: 今は本格的な機材を揃えなくても、映像制作や編集が可能な時代です。            手軽に制作環境が手に入る恩恵を最大限に活かしつつ、それぞれのクリエイティビティを発揮してもらえたらと思います。            授業計画: 一部グループワークになりますので、体調に気をつけて協力してすすめてください。</p>
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>            データ保存用リムーバブルディスク(USBメモリ、外付け用HDD、SSDなど)持参。            ※学校のPC / Macにはデータが保存できません</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	三和 宗久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日4限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
SNS全盛の時代である現在は、端末機器のみで制作から投稿・拡散まで完結させることも難しくありません。この授業ではDAWを使用して音源制作、編集などを学び、映像や音源を制作しYouTubeに投稿をしたり、DAW(おもにProTools)を使用して音声の編集や作品制作をします。また著作権についての基礎知識を習得します。  
※実務者経験：専門学校、大学等でPC・Macに関する授業を約10年行う。音源制作スタジオギビン代表  
主業務は音源(原盤)制作、作編曲、ライブサポート、マネジメント、映像制作、WEBデザインを手がける

**【到達目標】**  
Cubaseを使用しての音源制作および編集。作品制作を行う。  
<具体的な目標>  
目標① SNS時代のITリテラシーと著作物に関する権利について説明できる  
目標② Cubaseを使用して音源を制作する  
目標③ DAWを使用して、音声の編集ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	(目標①)Cubase① 授業内容の説明、PC教室使用上の注意。デモプレゼンを行う
2回目	(目標①)Cubase① Audio I/FとMIDI、プロジェクトファイルの設定、トラックの立ち上げが出来るようになる
3回目	(目標②)Cubase② コードトラックを使用する。テンポ / 音量の調整が出来るようになる
4回目	(目標②)Cubase③ インストゥルメントトラックの作成。ドラムの打ち込みが出来るようになる
5回目	(目標②)Cubase④ ベース / シンセの打ち込みが出来るようになる
6回目	(目標②)Cubase⑤ MIDI基礎。MIDIの基礎を学び理解できるようになる
7回目	(目標②)Cubase⑥ レコーディングを習得することが出来る
8回目	(目標②)Cubase⑦ MIXをして音源にする。メディア / 配信用音源が出来るようになる
9回目	(目標②)Cubase⑧ より高度な表現を学び理解できるようになる
10回目	(目標②)Cubase⑨ 配信時代のマスタリングについて理解できるようになる
11回目	(目標③)制作① Cubaseを使用したの作品制作①
12回目	(目標③)制作② Cubaseを使用したの作品制作②
13回目	(目標③)制作③ Cubaseを使用したの作品制作③
14回目	(まとめ)作品試聴会と講評。制作における課題とその対応について考える
15回目	(まとめ)今後自らの制作を高めていくための課題とその対応について考える
準備学習 時間外学習	前提:この授業を受けるにはApple IDの取得が不可欠です。 またYouTubeへの投稿をもって評価の一部とするので、そのためのgoogleアカウントも必要です。 作品制作:提出用作品を作る際の素材(動画、音声等)は事前に用意しておいてください
評価方法	投稿作品を課題成果として知識・技能の到達評価を行う。 さらに、制作方法・意図についてのプレゼンテーションおよびレポート提出を加味し割合で評価を行う。 ●レポート50% ●課題成果50%
受講生への メッセージ	魅力:今は本格的な機材を揃えなくても、映像制作や編集が可能な時代です。 手軽に制作環境が手に入る恩恵を最大限に活かしつつ、それぞれのクリエイティビティを発揮してもらえたらと思います。 授業計画:一部グループワークになりますので、体調に気をつけて協力してすすめてください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> データ保存用リムーバブルディスク(USBメモリ、外付け用HDD、SSDなど)持参。 ※学校のPC / Macにはデータが保存できません	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アクティング (Acting)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 初旬はテキストを中心に、シーンを作ることを軸として進める。 クラスの様子に合わせてステップアップをしていき、カメラの前で演じる実習へと移行していく。 ※実務者経験: 1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。							
<b>【到達目標】</b> ①映像媒体での演技・俳優の役割を理解する。 ②課題(テキスト)をシーンとして再現出来ること。 ③シーンに即した演技ができるようになること。							

授業計画・内容	
1回目	映像作品の特性や話を紹介。授業概要について。
2回目	名作と呼ばれる映像作品はどういうものなのか。作品の見方などの解説。
3回目	前週の課題をどのように捉えたか。解説と質疑応答。
4回目	テキストを用いてシーンを作る①
5回目	テキストを用いてシーンを作る②
6回目	テキストを用いてシーンを作る③
7回目	テキストを用いてシーンを作る④
8回目	モンタージュ手法における映像演技の実験。
9回目	カメラの前で一つの時間を現出させる。実習。
10回目	テキストを用いてシーンを作る⑤
11回目	テキストを用いてシーンを作る⑥
12回目	撮影実習①
13回目	撮影実習②
14回目	撮影実習③
15回目	撮影実習④
準備学習 時間外学習	予め準備してあるテキストなどを読みこんで、キャストイングを行って以降は出来るだけ台詞を覚えて来ててください。 準備時間は大体20分～40分くらい。
評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
受講生への メッセージ	まずはテキストを通して演技をしていきましょう。もし分からないことがあったら、遠慮せずに質問してください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> テキスト・筆記用具	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アクティング (Acting)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ全コース					曜日・時限	金曜日1・2限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 ショートフィルムは、役者としてのカメラ前演技が向上するための授業です。  
 繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。最終的には実践型の発表を行います。  
 ※実務者経験：1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。

## 【到達目標】

コミュニケーション能力向上と他者にむけての自己表現力を上げる。

(目標①) ワークショップやエチュードを行い演技することを学ぶ。

(目標②) テレビと舞台での違いを身体に落とし込む。

(目標③) 実戦形式で台本の作成発表。

## 授業計画・内容

1回目	授業の概要・目標説明と自己紹介が出来るようになる (宿題: 何が面白かったか? 具体的に言えるようにすること)
2回目	(目標①) 自己紹介の発展として3分間の自己PRができるようになる。 (自己PR×2回・立ち方)
3回目	テキストを用いてシーンを作る①
4回目	テキストを用いてシーンを作る②
5回目	テキストを用いてシーンを作る③
6回目	テキストを用いてシーンを作る④
7回目	(目標②) 台本の読み③ シーンが要求していることが理解でき、表現できるようになる。
8回目	(目標②) ショートシーンの撮影① 撮影技術を理解して表現できるようになる。
9回目	(目標③) ショートシーンの撮影② カメラアングルで印象の違いを理解できるようになる。
10回目	(目標③) 台本作成
11回目	(目標③) 撮影を行う①
12回目	(目標③) 撮影を行う②
13回目	(目標③) 撮影を行う③
14回目	(目標③) 撮影を行う④
15回目	(目標③) 発表会と振り返りを行う

準備学習 時間外学習	台本制作
---------------	------

評価方法	① 授業内成果 (50%) ② 課題成果 (50%)
------	-------------------------------

受講生への メッセージ	繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】	
----------------	--

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アクティング (Acting)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ全コース					曜日・時限	土曜日4・5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 初旬はテキストを中心に、シーンを作ることを軸として進める。基本的には連続した実習形式を進めて行くので、最低限のプロットのみでリハーサルを重ねて撮影を行います。前期と後期を通して、実習の発表という形で短い作品作りを行います。一定の手法ではなく、様々な手法・話法で撮影がおこなわれるという前提で実験していきます。 ※実務者経歴: 1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤む。							
<b>【到達目標】</b> ①映像媒体での演技・俳優の役割を理解する。 ②課題(テキスト)をシーンとして再現出来ること。 ③大きな演技が出来る前提で、抑制された自然な演技が出来ること。(内面を現出させる)							

授業計画・内容	
1回目	映像作品の特性や話法を紹介。授業概要について。また、名作と呼ばれる映像作品はどのようなものなのか。作品の見方など
2回目	TVドラマと劇場映画の違いについて。さまざまな撮影現場・撮影手法について。
3回目	前週までの質疑応答。映像作品における俳優の役割についてディスカッションを行う。
4回目	テキストを用いてシーンを作る。
5回目	ペアあるいはグループごとに課題のシーンを演じる。
6回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
7回目	登場人物が4人以上のシーンを作る
8回目	人間関係とそれぞれの位置関係を決めながらシーンを演じる
9回目	会話を重視したシーンを演じる①
10回目	会話を重視したシーンを演じる②
11回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
12回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
13回目	最小限のプロットでシーンを作り込む
14回目	台詞のない人間模様を、クローズアップで撮影する
15回目	一つのシチュエーションを演じ、様々な視点で撮影して確認とディスカッションを行う。
準備学習 時間外学習	事前に台本と配役が決まっている場合は、授業当日までに読みこみと役作りをしてきてください。 撮影実習の時は、役(あるいはシナリオ)に沿った衣装など持ってきてください。基本的に各ポジションが決まっている時は、役作りをして台詞を入れて来ておいて下さい。あえて台詞を入れないで来てほしい時はこちらから事前にお伝えします。
評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
受講生への メッセージ	一年間という限られた時間の中で、出来るだけ様々なスタイルの課題を進めて行きます。もしかしたら前の課題とは正反對のルールで課題が進むかもしれません。遠慮せずに質問や発言をしてください。つまるところ俳優の仕事は「役を演じる」ということです。カメラの前でどう演じるか。物語全体の中のどの瞬間を、いま演じているのか。その意識を常に持ち続けて課題に取り組んで下さい。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> テキスト・筆記用具	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アクティング (Acting)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ全コース					曜日・時限	土曜日4・5限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 ショートフィルムは、役者としてのカメラ前演技が向上するための授業です。繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。最終的には実践型の発表を行います。  
 ※実務者経験：長良プロダクションに在籍中、演歌歌手山川豊の付き人を4年経験、その後地元名古屋に戻る。名古屋でタレント事務所を設立。俳優、そしてプロデューサーとしても幅広く活動中。2009年、劇団 Smile BaKation入団。

## 【到達目標】

コミュニケーション能力向上と他者にむけての自己表現力を上げる。

(目標①) ワークショップやエチュードを行い演技することを学ぶ。

(目標②) テレビと舞台での違いを身体に落とし込む。

(目標③) 実戦形式で台本の作成発表。

## 授業計画・内容

1回目	授業の概要・目標説明と自己紹介が出来るようになる (宿題：何が面白かったか？具体的に言えるようにすること)
2回目	(目標①) 自己紹介の発展として3分間の自己PRができるようになる。 (自己PR×2回・立ち方)
3回目	(目標①) エチュード① 自由な発想で表現ができるようになる。
4回目	(目標①) エチュード② シチュエーションを正当化できるようになる。
5回目	(目標②) 台本の読み① 作品のテーマに沿った解釈が出来るようになる。
6回目	(目標②) 台本の読み② 登場人物の設定、感情を探り、表現できるようになる。
7回目	(目標②) 台本の読み③ シーンが要求していることが理解でき、表現できるようになる。
8回目	(目標②) ショートシーンの撮影① 撮影技術を理解して表現できるようになる。
9回目	(目標③) ショートシーンの撮影② カメラアングルで印象の違いを理解できるようになる。
10回目	(目標③) 台本作成
11回目	(目標③) 撮影を行う①
12回目	(目標③) 撮影を行う②
13回目	(目標③) 撮影を行う③
14回目	(目標③) 撮影を行う④
15回目	(目標③) 発表会と振り返りを行う

準備学習 時間外学習	台本制作
---------------	------

評価方法	① 授業内成果 (50%) ② 課題成果 (50%)
------	-------------------------------

受講生への メッセージ	繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】	
----------------	--

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコを実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。          ※実務者経験: 声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。          目標①人前で表現することへの抵抗をなくす          目標②マイク前でも全身で表現できる          目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定</p>							

授業計画・内容	
1回目	(目標①)自己紹介、初見力チェック、今後の目標設定を行う
2回目	(目標①、③)シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
3回目	(目標①、③)シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
4回目	(目標①)シアターゲーム、エチュード、感情解放が出来るようになる
5回目	(目標①)シアターゲーム、滑舌練習、セリフ原稿を読めるようになる
6回目	(目標②)セリフ原稿/マイク前での表現が出来るようになる
7回目	(目標②)セリフテクニック講義/セリフ原稿での実践を行う出来るようになる
8回目	(目標②)掛け合い/人と一緒に作品を行う
9回目	(目標②)サウンドドラマ1/台本を読み解くが出来るようになる
10回目	(目標②)サウンドドラマ2/複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
11回目	(目標②)サウンドドラマ2/複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
12回目	(目標②)サウンドドラマ3/舞台発表を行う
13回目	(目標②)サウンドドラマ3/舞台発表を行う
14回目	(目標②)サウンドドラマ4/音声作品としての収録を行う(※期末試験とする)
15回目	前回の音声を再生し、今期の目標達成度の確認と後期の目標設定を行う
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。 評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。 みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性があります。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          アクセント辞典</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日5・6限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコを実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。 ※実務者経験: 声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
<b>【到達目標】</b> 人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。 目標①人前で表現することへの抵抗をなくす 目標②マイク前でも全身で表現できる 目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える 後期の目標設定。ボイスドラマ教材②の班決め、読み合わせ。滑舌チェック。
2回目	実際に動きをつけ、全身で台本を演じきる ボイスドラマ教材② それぞれに持ち寄ったアイデアを詰める練習時間を取った後、仮発表。 舞台として細かく作り上げて、セリフや動きの共有をおこなっていく。
3回目	舞台としてドラマを完成させる ボイスドラマ教材② 最終確認の練習時間を取り、舞台として各班ごとに発表していただきます。
4回目	先週の舞台を声だけで再現する ボイスドラマ教材② 先週舞台として作り上げたものをマイク前で収録を行います。 全身で演じたものをどうやって音だけで再現するのかを練習して収録していきます。
5回目	先週の反省、今後の課題を見つける。 先週収録したボイスドラマ教材②を聴いていきます。その反省を踏まえて次のボイスドラマ教材③へ入っていきます。 また新たな台本での班決めや打ち合わせ時間を作ります。
6回目	読むのではなく演じるという感覚を身につける ボイスドラマ教材③ 各班ごとに細かく返して精度を上げていきます。一度収録してみます。
7回目	自分たちで考える力や習慣を身につける ボイスドラマ教材③ 先週収録したものを聴き、各班ごとに自分たちでどう改善すべきかを打ち合わせていただき、本番の収録をおこなっていただきます。
8回目	演じたものがどう聴こえているのかを客観的に受け止める 先週収録した音声を聴き、ディスカッションしていきます。また、アフレコについての説明などもおこなっていきます。
9回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる① アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返していきます。
10回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる② アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返していきます。
11回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える① 先週よりも長めのシーンをういて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
12回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える② 先週よりも長めのシーンをういて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
13回目	自分の役に責任を持って生きる① 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
14回目	自分の役に責任を持って生きる② 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
15回目	後期試験 オーディションのように当日課題でセリフへの適応力や基礎力を見せていただきます。
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。 こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。 評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。 みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性があります。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> アクセント辞典	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
<b>【到達目標】</b> たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	今期目標設定、プロになるための意識作りの講義、基礎力チェック
2回目	(目標①)アフレコ演習：マイクワーク、ロパクへの合わせ方などの技術面に集中する
3回目	(目標①)アフレコ演習：前回と同じ題材で、表現をプラスする
4回目	(目標①)アフレコ演習：技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる①
5回目	(目標①)アフレコ演習：技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる②
6回目	(目標②)アフレコ演習：色々な役を試して、人からの評価を聞く
7回目	(目標②)アフレコ演習：ここまでの実習を踏まえて、現在の自分のできること、できないことを確認
8回目	(目標②)アフレコ演習：前回確認した弱点に意識を集中する①
9回目	(目標②)アフレコ演習：前回確認した弱点に意識を集中する②
10回目	(目標③)アフレコ演習：コピーレッスン①として、まずは自分なりに表現する
11回目	(目標③)アフレコ演習：コピーレッスン②として、プロの音声をコピーし、再現し、先週との違いを確認する。
12回目	アフレコ演習：前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す①
13回目	アフレコ演習：前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す②
14回目	期末テスト：模擬オーディションを行う
15回目	アフレコ演習：皆さんにやりたい作品を選んでいただき思い切り表現を楽しむ
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているような練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思えます。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> アクセント辞典	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアテレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアテレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。 吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
<b>【到達目標】</b> たくさんのアテレコ演習を行う事でアテレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アテレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える アテレコ題材② 新たな題材でのアテレコ演習です。 前期で行っていた題材とは求められることが全く違うので、その違いをどう表現すべきかを実践しながら掘っていきます。
2回目	戦闘シーンでのスピーディーなコマ割りやアドリブへの対応力を養う アテレコ題材② Aパートの本番を行います。踏まえてBパートにも入っていきます。 難しい戦闘シーンなど動きやアクションのアドリブに向き合っていきます。
3回目	実際の収録の流れを掴み、集中力を高める アテレコ題材③ 実際のアテレコ収録の流れ、テスト、ディレクション、本番、別録り、ギャ録りを行います。 長時間ブースの中で息を殺し、集中力を途切れさせない必要があるためそういった空気を感じて現場への意識を高めます。
4回目	線画でのバクの合わせ方や読み取り方の難しさを知る アテレコ題材③ 線画でのアテレコを行います。完バケした映像とは違い、シーンを読み取る力、 台本を読み解く力がより必要となり、またボールドに正確に合わせる感覚を掴んでいきます。
5回目	バクの合わせ方のコツを掴む アテレコ題材③ 長ゼリフなどがある際のバクのつかみ方。また本番として現場の流れで収録していきます。 次週までの宿題についての説明を行います。
6回目	表現をコピーし再現する アテレコ題材④⑤ 前週に先渡しにした音声付きの映像をコピーしてきていただき、アテレコに臨んでいただきます。男女それぞれに違った課題があるので、それぞれの与えられた役に集中してプロの技を盗むことにより、表現の引き出す方法、音と向き合う方法を知っていく。
7回目	コピーと表現により自分の可能性を広げていく アテレコ題材④⑤ また違った役について研究し、コピーしてより音や表現の幅を増やしていきます。
8回目	繊細な表現をつかむ アテレコ題材⑥ 非常に繊細な感情が求められる作品に入っていきます。 心を大きく動かしながらバクに合わせる難しさを体感していきます。一つ一つの音の繊細さにもこだわっていきます
9回目	繊細な表現をつかむ① アテレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
10回目	繊細な表現をつかむ② アテレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
11回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく① アテレコ題材⑥ Bパートに入っていきます。より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアテレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを確認する。
12回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく② アテレコ題材⑥ Bパートに入っていきます。より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアテレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを確認する。
13回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ① アテレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアテレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
14回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ② アテレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアテレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
15回目	後期試験 アテレコ授業の集大成としての試験を行い、今後の進路相談などもおこなっていきます。
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているような練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> アクセント辞典	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング I ( Ear training I )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当							
<b>【到達目標】</b> 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 教科書、iPad、授業プリント	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ ( Ear training I )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当							
<b>【到達目標】</b> 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却 復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 教科書、iPad、授業プリント	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	オーディション対策 (Audition measures)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日1限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする。          ※実務者経験：'83よりジャズダンスを始め、'85から3年間コンパニアアメリカのメンバーとして『明日の新人公演』(東京虎ノ門ホール)に出演。'88にコンパニアアメリカのメンバーとして海外公演に出演。'89にフリーとなり『Studio M』を発足し、現在に至る。'91より自主公演を行い現在に至る。'95よりニューヨーク研修の際、モダン(ホートンテクニック)をジョリー・マフィーに師事</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ミュージカル等、ダンス業界で必要になるタップの基本的な技術とリズム感、知識の習得をすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	1年時に学んだステップの確認テストを行う
2回目	ドゥローバックのスキルを身につけることができる
3回目	クロスワイドドゥローバックのスキルを身につけることができる
4回目	ダブル・トリプルドゥローバックのスキルを身につけることができる
5回目	ヒールバックとトリプルヒールのスキルを身につけることができる
6回目	ヒールバックとワルツクログのスキルを身につけることができる
7回目	バッファローのスキルを身につけることができる
8回目	バッファロー、ジャックナイフのスキルを身につけることができる
9回目	学んだステップの復習を行い、ステップの名前と説明ができるようになる
10回目	学んだステップの復習を行い、課題を見つけ練習方法を身につけることができる
11回目	学んだステップにターンを加えた応用ステップを行う
12回目	学んだステップにターンを加えたステップの発表を行う
13回目	前期に学んだステップ(指定されたもの)を入れて振付を考えることができる
14回目	前期に学んだステップ(指定されたもの)を入れて振付を考え、発表を行う
15回目	テストを実施し、後期に向けての課題を知ることができる
準備学習 時間外学習	習熟度に応じ、授業内で出された課題を、次週までに講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合は、欠席授業の復習が必要です。
評価方法	①定期試験(50%) ②課題成果(30%) ③授業態度(20%)
受講生への メッセージ	ダンスのすべてに必要なリズム感を学ぶことで、様々なダンスに応用できるので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、休まないようにしてください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	オーディション対策 (Audition measures)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする。 ※実務者経験: '83よりジャズダンスを始め、'85から3年間コンパニアアメリカのメンバーとして『明日の新人公演』(東京虎ノ門ホール)に出演。'88にコンパニアアメリカのメンバーとして海外公演に出演。'89にフリーとなり『Studio M』を発足し、現在に至る。'91より自主公演を行い現在に至る。'95よりニューヨーク研修の際、モダン(ホートンテクニック)をジョリー・マフィーに師事							
<b>【到達目標】</b> ミュージカル等、ダンス業界で必要になるタップの基本的な技術とリズム感、知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習+リズム変換、ブルバック(シャッフルホップバーのスキルを身につけることができる)
2回目	ドゥローバックバリエーション、ブルバック(シャッフルホップ)を身につける
3回目	前週の復習、ターンバリエーション、ブルバック(シャッフルホップバー有)を身につける
4回目	振付練習、リズム変換テストを行う
5回目	今までのステップのリズム変換を考える、1人づつ4×8の振付をし、それをつなげることができる
6回目	ドゥローバック(トリプル)・ブルバック(シャッフルホップバー無し)のやり方と練習を行う
7回目	基本ステップの復習、ターンバリエーション、ブルバック(シャッフルホップバー無し)を身につける
8回目	ドゥローバック(トリプル)、基本ステップをつなげることができる
9回目	スループのやり方と練習、シャッフルをスカッフルに変換することができる
10回目	前週の復習、基本ステップ+ブルバック、ブルバック(シャッフルホップバー無し)を身につける
11回目	今までのステップをトリプル以上のバリエーションを身につける
12回目	今までのステップをリズム変換することを身につける
13回目	タップの振付を考える力を身につける
14回目	タップの振付を考える力を身につける(振り付けの課題を与え、役割分担)
15回目	テストを実施し、今後の課題を知ることができる
準備学習 時間外学習	習熟度に応じ、授業内で出された課題を、次週までに講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合は、欠席授業の復習が必要です。
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 授業態度(20%)
受講生への メッセージ	ダンスのすべてに必要なリズム感を学ぶことで、様々なダンスに応用できるので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、休まないようにしてください。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (contemporary)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林 美穂
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 動きの方向性、質感などを使い分け、その時何が必要でどう動くべきか、求められている事を表現とし、形になる方法を習得する。 ※実務者経験: 1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。							
<b>【到達目標】</b> 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	軸を感じ、立つ・歩くをオーダー通りに出来るようになる
2回目	ペアワーク: 軸を使い互いの体を動かし感じる事が出来るようになる
3回目	軸を使いスパイラルフロアーエクササイズを行う
4回目	①ペアワーク: 互いの体を引く、押す、離れる、触るを行う
5回目	②ペアワーク: 動作にはどんな動きがあるのかを検証し取り入れることができるようになる
6回目	③ペアワーク: 検証した動きはどのように見えるのかを検証し課題を見つけることができる
7回目	①グループワーク: 数名に分かれて動きを出し合いお互いに確認を行う
8回目	②グループワーク: それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を考え発表を行う
9回目	②グループワーク: それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を作品に取り入れる考察を行う
10回目	②グループワーク: それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を作品に取り入れる考察を行う
11回目	③グループワーク: それぞれの課題にはどのような動きが必要か検証する
12回目	③グループワーク: それぞれの課題にはどのような動きが必要かグループ毎に発表を行う
13回目	④グループワーク: グループ同士で発表し合い、いるもの、いないものの検証を行う
14回目	⑤グループワーク: 全体作品を発表する。さらにいるもの、いないものの検証を行う
15回目	⑥グループワーク: 最終発表。物語を動きにした方法論の説明ができるようになる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	朝の授業なので、時間を調整して体を整えておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (contemporary)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林 美穂
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日1・2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          体の動きの方向性、質感を使い表現につないでいく。その時何が必要でどうすべきか求められていることを自分で考え形に出来るように学ぶ。          ※実務者経験: 1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。</p>							
<p>【到達目標】          踊りの基礎・応用を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	動きの元(軸を作る)のエクササイズを行う
2回目	動きの元(軸を作る)のエクササイズを行い軸を感じる事ができる
3回目	軸を作るエクササイズに振付を加え、軸の強化を行う
4回目	振付を使い、前や後ろに方向性を出して進んでみることを行う
5回目	前や後ろに方向性を出して進むとはどういうことか検証し、進むということはどんな事を連想させるかを知ることができる
6回目	進む動きをさらに発展させ、ねじる、もどすの動きを加えることを行う
7回目	グループになりお互いに見合うことを行い、動きがどういった意味合いに見えてくるかを検証し説明できるようになる
8回目	動きの意味合いを感じながら応用した振付を行う
9回目	グループになりお互いに見合うことを行い、動きがどういった意味合いに見えてくるかを検証し説明できるようになる
10回目	グループ毎に作品作りを行う
11回目	グループ毎に作品作りを行う
12回目	グループ毎に発表を行う
13回目	発表後、お互い見た感想や意見を交換し、どういう事が必要かを検証することをを行う
14回目	検証結果を作品に反映させ、クオリティーを上げることを行う
15回目	最終発表を行う。作品に取り入れた動きの方法論の説明ができるようになる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	朝の授業なので、時間を調整して体を整えておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (contemporary)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林 美穂
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1・2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 動きの方向性、質感などを使い分け、その時何が必要でどう動くべきか、求められている事を表現とし、形になる方法を習得する。 ※実務者経験: 1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。</p>							
<p>【到達目標】 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体现し、自身の表現を迷わず出すことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	フロアー、センターエクササイズを行う
2回目	フロアー、センターエクササイズ、ジャンプバリエーションを行う
3回目	基礎学習からステップを取り入れ振付を踊ることができるようになる
4回目	基礎学習から、自身で振付を作ることができるようになる
5回目	基礎学習から、振付、自身で作った部分、他の人が作った部分を組み合わせて踊ることができる
6回目	エクササイズ、コンタクト(ペアになり様々な動きを考える)を行う
7回目	エクササイズ、コンタクト(出てきた動きを覚えていく)を行う
8回目	作品制作を行う(グループになり題材を決める)
9回目	作品制作を行う(グループワーク: 題材をどう動きに変えていくか検証する)
10回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
11回目	意見交換した際に出た課題点の修正を行う
12回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
13回目	意見交換した際に出た課題点の修正を行う
14回目	作った作品について、その題材にした理由、動きへの変換の方法を説明できる
15回目	これまでに学んだ内容を振り返り、復習を行う
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	身体の基礎となるバーレッスン、地味にコツコツやってください
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (contemporary)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林 美穂
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 体の動きの方向性 質感を使い表現につないでいくその時何が必要でどうすべきか求められている事を自分で考え形に出来るように学ぶ。 ※実務者経験: 1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。							
<b>【到達目標】</b> 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	動きの元となるトータルエクササイズを行う
2回目	動きの元となるトータルエクササイズに振付をし対応力を知ることができる
3回目	トータルエクササイズに振付を足していき、対応力を知ることができる
4回目	動きをつかい表現し、自分の身体と表現力について知ることができる
5回目	作品作りに向けて題を決めることを行う
6回目	決めた題材に合った動きを探し、発見することができる
7回目	決めた題材に合った動きを探し、発見することができる
8回目	発見した動きを融合させ振付を考案することをを行う
9回目	発見した動きを融合させ振付を考案し、作品作りを行う
10回目	発見した動きを融合させ振付を考案し、作品作りを行う
11回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
12回目	見つかった課題を更に検証し、題材にあった動きの再考案を行う
13回目	グループ毎に作品の発表を行う
14回目	作った作品について、その題材にした理由、動きへの変換の方法を説明できる
15回目	これまでに学んだ内容を振り返り、今後の自分にどう生かしていくかを説明することができる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	身体の基礎となるパーレッスン、地味にコツコツやってください
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 柔軟性、筋力、リズム感を高めるトレーニングをしながら、踊る事、人前に立つ、パフォーマンスすることが出来る様にする。 ※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。							
<b>【到達目標】</b> 身体能力の向上と動く事、人前に立つなど、苦手意識の払拭。 ダンススキルの向上。パフォーマーとしての意識の確立。							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレトレーニングの方法を覚え、出来るようになる
2回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる①
3回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる②
4回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる①
5回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる②
6回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る①
7回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る②
8回目	振付を正確に覚え、目線が下がらない様に練習し出来るようになる
9回目	重心移動を上手に使い、大きく踊れる様になる
10回目	体の面をしっかり動かす様に練習し出来るようになる
11回目	表情にも意識を払いながら、ただ踊る⇒パフォーマンスするに昇華させることが出来る
12回目	全員でもピッタリ揃って踊れる様にする。そうする為にはどうすれば実現できるか考え出来るようになる
13回目	鏡を見ずに他の人を見ないで、1人でも堂々と踊れる様になる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 授業態度 (20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          基礎トレーニング、クロスフロアを行いながら、基礎テクニックを習得。          踊る事に慣れさせながら、踊りのノウハウを理解し、正しく体が使えるようにする。          ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          オーディションなどによくあるクロスフロアをしっかりとこなせる様になる。          基礎テクニックのやり方を理解し、それをしっかり踊りの中で活かせる様にする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ターンアウトとシェネ、パドブレ、ステップ、シャッセの習得する
2回目	パラレルとピルエットの習得する
3回目	バットマンの習得する
4回目	リリース、コントラクションとタンジュ、ブリエの練習を行い出来るようになる
5回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックを正確に繋げられる様にする
6回目	ピケターンを習得する
7回目	シャッセジャンプを習得する
8回目	ソデバスクを習得する
9回目	シェネジュツテを習得する
10回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる①
11回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる②
12回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる③
13回目	課題の振りを踊るテストを行う
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行いながら、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          レッスン着・タオル・シューズ          水分補給できるもの</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          基礎トレーニング、クロスフロアーを行いながら、振りではどう踊り、体をどう使えばどう見えるか、主観的にだけでなく、客観的に見る習慣をつけ、動きの中で意識出来る点を増やしていく          ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          基礎的な知識、柔軟性、筋力、リズム感などを養いながら、クロスフロアーをしっかりと出来るようにして、JAZZ特有のしなやかでメリハリのある動きを目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレ方法、ジャズの基本用語を覚え理解する
2回目	シェネの習得とともに、スポットや注意点を把握する
3回目	ビルエットの習得とともにバレエのビルエットとの違いを把握する①
4回目	ビルエットの習得とともにバレエのビルエットとの違いを把握する②
5回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる①
6回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる②
7回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる①
8回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる②
9回目	振付を正確に覚え、目線や重心をコントロールが出来るようになる
10回目	動きの流れを掴み、周りの人とピッタリ揃って動けるようになる
11回目	ソデバスクやシェネジュッテなどのジャンプテクニックの習得する
12回目	踊りにしっかり緩急をつけられるようになる
13回目	パフォーマンスする意識を持ち表情に至るまで考えて踊ることが出来るようになる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋力トレーニングや柔軟を行い、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できるようにする
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	自分がやりたいジャンル、そうでないジャンルと好みはあると思いますが、せっかく色々なジャンルを学べる機会なので、貪欲に好き嫌いをせず、どんどん吸収していきましょう。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          レッスン着・タオル・シューズ          水分補給できるもの</p>	

## 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜日1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          基礎トレーニング、基礎テクニックの練習を主体に、踊り方の面でも高い表現力を身に付ける為に、目線、重心、表情、緩急、色々な所に注意しながら繰り返し練習し身につける。          ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          プロフェッショナルとしての意識と知識を持たせ、様々な場面で活躍できる様にJAZZダンスのテクニックをしっかりと習得し、説明ができるところまでいかせる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シエネを習得し、説明できる様にする
2回目	ピルエットを習得し、説明できる様にする
3回目	ピケターンを習得し、説明できる様にする
4回目	バットマン、ソデバスクの復習と習得する
5回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする①
6回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする②
7回目	シエネジュッテの習得、流れの中で不要な動きを無くしていく(振付)
8回目	アクセルターンの習得とスポット強化①
9回目	アクセルターンの習得とスポット強化②
10回目	シエネジュッテで体を倒せる様にして、そのままフロアに入れる様にする
11回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する①
12回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する②
13回目	他の人の背中を転がる練習、フロア両足を開いて倒立し、その後足を滑り込ませる練習を行う
14回目	課題の振付を踊るテスト
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	あと1年!! 1分1秒を大切に吸収できる物は全部吸収してください。 あと社交性も大切に!! そして今一緒に頑張っている仲間を大切に。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          レッスン着・タオル・シューズ          水分補給できるもの</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street dance)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。 ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。 三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 全てのジャンルに活かせる体幹を身につけることができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、目標を声に出して自分の意識を高めることができる
2回目	HOUSEだけでなく、ダンスに使う基礎を習得することができる
3回目	アイソレーション、筋肉トレーニング、ステップを身につけることができる
4回目	アイソレーション、体幹トレーニング、ステップを身につけることができる
5回目	筋肉・体幹トレーニング、色んなステップを使った応用を習得することができる
6回目	色んなステップを使って、アクセントを付け、体で表現することができるようになる
7回目	ここまでやったステップを使って、振付、構成を作ることができるようになる
8回目	基礎のステップを使ってストーキングという練習方法で即興をし、表現をすることができる
9回目	各トレーニングをし、ストーキング、振付を行い、説明することができる
10回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEのステップを取り入れ振付ができるようになる
11回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEだけではなく、HIPHOPを混ぜた振付ができるようになる
12回目	基礎を1段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
13回目	基礎を2段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
14回目	基礎を3段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
15回目	今までのステップの見直し。振付を行い各自課題、意識を再確認することができる
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 課題成果 (30%) 3. 実地試験 (20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、全てのことを意識して取り組みましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street dance)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。 ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。 三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 全てのジャンルに活かせる体幹を身につける							

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確保する為テストを実施
2回目	テストでの課題を見直し再度注意点を意識して踊る
3回目	今までの動きにグローブを入れ、動きに幅をつけることができるようになる
4回目	軸を意識し、基礎の型に変化をつけることができるようになる
5回目	軸を意識し、基礎の型に変化とグローブをつけることができるようになる
6回目	軸を意識し変化をつけながらグローブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
7回目	軸を意識し変化をつけながらグローブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
8回目	フロアの動きを多く取り入れた振付を習得することができる
9回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、身体のコントロールの方法を習得することができる
10回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、体重移動の方法を身につけることができる
11回目	ストーキングという練習法で自由に表現することができるようになる
12回目	覚えた動きを自由に組み替えて振付をすることができるようになる
13回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、説明することができる
14回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、構成をつけて発表することができる
15回目	1年間学んだ内容を取り入れ自作で振付をしテストを実施する
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 実地試験(20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street dance)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日5・6限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。 ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。 三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 全てのジャンルに活かせるリズム、グルーブ、体幹を身につけることができる。							

授業計画・内容	
1回目	先輩として、上に立つ人間としてのあり方や、目標を声に出して意識を高めることができるようになる
2回目	1年次に習得した内容の理解度を確認しながら基礎のレベルチェックを行う
3回目	基礎に1つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
4回目	基礎に2つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
5回目	基礎に3つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
6回目	ステップにリズムを1つ足し、応用のステップを習得することができる
7回目	ステップにリズムを2つ足し、応用の振付を作ることができるようになる
8回目	体幹トレーニングで軸を作り、ターンなどの軸を使った応用の振りを習得することができる
9回目	ターンなどの軸を使った応用の振りを作ることができるようになる
10回目	1つのステップのレパートリーを増やしていくことができる
11回目	ステップのリズムを応用しレパートリーを増やしていくことができるようになる
12回目	HOUSEのステップ、フロアを使って、体幹・筋力を身につけることができる
13回目	今まで習得したステップやフロアを使って即興にて身体を動かすことができるようになる
14回目	今まで習得したステップやフロアを使って組み合わせ、振付ができるようになる
15回目	自作した振付を発表し、個々の違いを見て後期への意識を高めることができる
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 実地試験(20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street dance)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。          ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。          三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。</p> <p><b>【到達目標】</b>          全てのジャンルに活かせるリズム、グルーヴ、体幹を身につけるだけでなく、技術、伝え方、感じ方を身に付けることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確認する為テストを実施
2回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確認することができる
3回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確認することができる
4回目	難易度の高いフロアのスキルを習得することができる
5回目	難易度の高いフロアのスキルを取り入れ1年半学んだステップでストーキングを実施
6回目	ストーキングにて自分の強みや弱みを知り課題を見つけることができる
7回目	すべての動きにグルーヴ、感情を入れて表現することを身につける
8回目	しっかり音を感じてグルーヴを出し表現することを身につける
9回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
10回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
11回目	グループに分かれ動きを組み合わせた振付に構成をつけることができるようになる
12回目	組み合わせた振付を皆で共有し説明することができる
13回目	すべてにおいて軸、表現、グルーヴを意識して踊り、表現の幅を広げることを身につけることができる
14回目	今まで学んだ事を再確認、意識して踊り、個々に自作した振付を発表する
15回目	2年間を振り返り、思いをしっかり踊りで表現することを課題にテストを実施する
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 課題成果 (30%) 3. 実地試験 (20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	ダンス & アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。* 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックの知識を身につけることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
6回目	簡単な動きの中で、自分が良く見える姿勢、ポーズ、シルエットを研究し歌唱パフォーマンスができるようになる
7回目	ステップ、ポーズのバリエーションを増やし、歌唱パフォーマンスができるようになる
8回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
9回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
10回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスができるようになる
11回目	振り付けの中で自分の見せ場がどこか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
12回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
13回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度 (40%) 2. 実地試験 (60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。* 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来るようになる
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
3回目	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	共鳴についての知識を身につけることができる
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える知識を身につけることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を行うことができる
11回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、前期よりクオリティの高い歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、隙のないパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパートリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 哲也
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜 6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。          ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる</li> <li>2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる</li> <li>3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる</li> <li>4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる</li> <li>5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる</li> </ol>							

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク: 業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク: 人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク: 希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク: 夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク: セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う
13回目	グループワーク: 振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く</li> <li>2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する</li> <li>3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する</li> <li>4. 事前課題など各種レポートを書く</li> </ol>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題成果(50%)</li> <li>2. 出席率(50%)</li> </ol>
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>            筆記用具            iPad</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 哲也
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜 6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。          ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>セルフマネジメント(自己理解)を実践できる</li> <li>チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる</li> <li>プロフィールシート作成ができるようになる</li> </ol>							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR ・ 趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野 ・ 関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く</li> <li>OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する</li> <li>海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する</li> <li>事前課題など各種レポートを書く</li> </ol>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>課題成果(50%)</li> <li>出席率(50%)</li> </ol>
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b></p> <p>筆記用具 iPad</p>	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ボディケア (body care)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エンターテイナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手役に怪我をさせない基本的な殴り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経験: 袁川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベ エンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や経陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
<b>【到達目標】</b> 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な殴り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない殴り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	基本の殴り方の習得を行う① ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
2回目	基本の殴り方の習得を行う② ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
3回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボーススタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し左右])
4回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボーススタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀左右])
5回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う③ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])
6回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う④ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])
7回目	リアクションの基本の習得を行う ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形
8回目	対人での拳の通し方が出来るようになる ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
9回目	対人での拳の通し方が出来るようになる② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
10回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
11回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
12回目	対人でのアクションの習得を行う① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形 ○1対1のアクション
13回目	対人でのアクションの習得を行う② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○1対1のアクション
14回目	前期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性がが必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋カトレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見せる演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となってきますので、体調管理をしっかりして休まないようにしましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 通年:動きやすい服装・上履き	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ボディケア (body care)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日1・2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エンターテイナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手役に怪我をさせない基本的な殴り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経験: 哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
<b>【到達目標】</b> 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な殴り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない殴り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ボディアクションの基礎の習得を行う① ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
2回目	ボディアクションの基礎の習得を行う② ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
3回目	ボディアクションの基礎の習得を行う③ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
4回目	ボディアクションの基礎の習得を行う④ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
5回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑤ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
6回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑥ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
7回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑦ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
8回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑧ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
9回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑨ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
10回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑩ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
11回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑪ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
12回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑫ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
13回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑬ ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスボースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
14回目	後期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が重要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見える演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えて来ています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となってきますので、体調管理をしっかりと休まないようにしましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 通年: 動きやすい服装・上履き	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ボディケア (body care)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者として必要なボディバランス・基礎体力の習得を目指し、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。 基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。 ※実務者経験：袁川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
<b>【到達目標】</b> 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。 目標① 怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。 目標② 対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③ 殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							
<b>授業計画・内容</b>							
1回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う①(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(刀の名称・刀の持ち方・基本の型)						
2回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う②(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足)						
3回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う③(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・無対象での刀の振り方の実践)						
4回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う④- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・移動しながらの刀の振り方の実践)						
5回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う④- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・移動しながらの刀の振り方の実践)						
6回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑤- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)						
7回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑤- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)						
8回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
9回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
10回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- III(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
11回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- IV(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
12回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- V(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
13回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- VII(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
14回目	前期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う						
15回目	実技テストを行う						
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が重要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。						
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)						
受講生への メッセージ	1年次に身に付けた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたことで怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかりと行いましょう。						
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 通年：動きやすい服装・木刀・ベルト							

## 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ボディケア (body care)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日3・4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者としてに必要なボディバランス・基礎体力の習得を目指し、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。          ※実務者経験: 真川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。</p>							
<p>【到達目標】          健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。          目標①怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。          目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。          目標③殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う① ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
2回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う② ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
3回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う③ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
4回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う④ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
5回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑤ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
6回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑥ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
7回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑦ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
8回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑧ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
9回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑨ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
10回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑩ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
11回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑪ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
12回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑫ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
13回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑬ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
14回目	後期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	1年次に身につけた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたこと怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかり行いましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】                      通年:動きやすい服装・木刀・ベルト</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 ( English Conversation )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日2限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。  
実務者経験:英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

## 【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

## 授業計画・内容

1回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
2回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
3回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
4回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
5回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
6回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
7回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
8回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
9回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
10回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
11回目	L.7.13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
12回目	L.7.13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
13回目	総復習を行う
14回目	学期末試験を行う
15回目	試験返却、解説を行う

準備学習  
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法

●定期試験(100%)

受講生への  
メッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。  
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

## 【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 ( English Conversation )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日2限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。  
実務者経験:英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

## 【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

## 授業計画・内容

1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
3回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
4回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
5回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
6回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
9回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
10回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
13回目	総復習を行う
14回目	学期末試験を行う
15回目	試験返却、解説を行う

準備学習  
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法

●定期試験(100%)

受講生への  
メッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。  
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

## 【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論 (musical theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜日4・5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 演劇の歴史をひもとき、現代までのながれを教科書を用いて講義する。 ※実務者経験:1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。							
<b>【到達目標】</b> ①一般教養としての演劇の歴史を理解する。 ②歴史の流れを理解することで、今の演劇・演技の在り方を知る。 ③作品・媒体・演出などで違う役へのアプローチ方法を数多く知る。							

授業計画・内容	
1回目	ギリシャ時代・三大悲劇を解説。様々な劇場の形式。コロスについての知識を取得できる
2回目	ローマ時代のパントマイム。5幕構成の誕生。～中世の宗教劇時代～ルネッサンスオペラとコメディアデラルテなどの知識を取得できる
3回目	イギリス・チューダー朝・三大劇作家と活躍した人物たちの知識を取得できる
4回目	シェイクスピアの四大悲劇と、他作品が現在の作品や役に与えた影響の知識を取得できる
5回目	フランス・ルネッサンス期の三大劇作家の知識を取得できる
6回目	ドイツ疾風怒濤運動～イブセン。劇が社会に与える影響の知識を取得できる
7回目	チャーホフの四大戯曲の知識を取得できる
8回目	チャーホフの四大戯曲とスタニスラフスキー。スタニスラフスキーシステムについての知識を取得できる
9回目	ブレヒトと異化効果についての知識を取得できる
10回目	アメリカミュージカルの発展。アクターズスタジオ、ステラ・アドラー、RADAの知識を取得できる
11回目	欧米の演技体系と、様々な演劇・演技のアプローチ方法を取得できる
12回目	日本の四大古典芸能についての知識を取得できる
13回目	日本の四大古典芸能についての続き、そして新劇、近代劇について学び、その知識を取得できる
14回目	新劇、近代劇について学び、その知識を取得できる
15回目	前期試験を行う
準備学習 時間外学習	授業で紹介・解説するのは、あくまでも概要止まりなので、授業後に自身で戯曲に触れる。 または自分自身でも研究すること。歴史＝過去ではなく、それが現在にいかにか繋がっているのか。 または影響を受けているのかを考える。
評価方法	筆記試験を行い、どれだけ理解できているかを確かめる。 点数が大事ではなく、理解し、自分達が目指している職業にいかにか繋がっているかを理解することが重要。 ●筆記試験(100%)
受講生への メッセージ	歴史＝過去 というだけではありません。 ほとんどの創作と技法は過去の作品や演出・演技を下敷きにアップデートを繰り返しているものです。 歴史を通して、今を知り、これから求められるものを予想することが出来ます。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ノート、筆記用具、ipad教材	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論 (musical theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小田 真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日2・3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          バレエ・ジャズ・ストリートそれぞれの歴史と著名人、ダンス用語を学び、舞台機構や舞台用語の基礎知識を学習し身につけることができる。          ※実務者経験: '83よりジャズダンスを始め、'85から3年間コンパニアアメリカのメンバーとして『明日の新人公演』(東京虎ノ門ホール)に出演。'88にコンパニアアメリカのメンバーとして海外公演に出演。'89にフリーとなり『Studio M』を発足し、現在に至る。'91より自主公演を行い現在に至る。'95よりニューヨーク研修の際、モダン(ホートンテクニック)をジョリー・マフィーに師事</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ダンサー・インストラクターとして、各分野のダンスの知識と作品を創る上での必要最低限の舞台知識を学び、説明できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	バレエの初期の歴史を学び、説明できるようになる
2回目	後期(バレエリュス以降)の歴史と世界のバレエ団の認識を身につける
3回目	バレエ作品の紹介とバレエの重要性を説明できるようになる
4回目	バレエの重要性と基礎知識、人名事典からバレエ重要人物のピックアップと経歴を説明できるようになる
5回目	「ジャズダンスとは」と世界の民族舞踊に関する知識を身につける
6回目	ジャズの歴史(ジャズの誕生まで)の知識を身につける
7回目	ヴォードビル、様々なスタイル(別資料にて補足説明)の知識を身につける
8回目	ジャズの歴史(様々なスタイルまで)について知識を身につける
9回目	ジャズのダンス用語を覚え、説明できるようになる
10回目	ストリートダンスの種類と歴史を学び、説明できるようになる
11回目	各分野のダンサーを確認し、説明できるようになる
12回目	ストリートダンスの歴史と用語・知識を身につける
13回目	ストリート映画の紹介とストリートで必要なことを学び、説明できるようになる
14回目	舞台機構と平面図の見方の知識を身につける
15回目	総合テスト 答え合わせを行う
準備学習 時間外学習	まずはYouTubeなどで、好きなダンサー、好きなダンスジャンルの成り立ち、音楽について調べていると、音楽やダンスの幅が広がります。ダンス用語は日頃から使って覚えるようにしましょう。
評価方法	①定期試験(40%) ②授業態度(10%) ③出席率(50%)
受講生への メッセージ	ダンサー・インストラクターとして、各分野のダンスの知識と作品を創る上での必要最低限の舞台知識を学び、踊れるダンサーだけではなく、知識のあるダンサーを目指しましょう。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          ipad、ノート、筆記用具は必ず毎週持ってくること          ipad(教科書)の定期的な動作確認</p>	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	脚本・シナリオ制作 ( Scenario interpretation )	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ミュージカルに必要な発声・身体・思考力を総合的に学ぶ。          この3つの要素を単体として捉えるのではなく、融合させることを学ぶことにより、ミュージカル俳優としての基礎力を身につけることができる。          ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。          その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ミュージカル台本を用いて、呼吸法(腹式)・発声法・柔軟性・考察力を学ぶ。          目標①無理のないスムーズな発声や大きな声を出すことができる          目標②自分が思い描く身体表現ができる          目標③自分の演技プランを具現化できる</p>							

授業計画・内容	
1回目	ミュージカルに必要なもので、且つ自分に足りないものが理解できる
2回目	呼吸法について理解できる
3回目	発声法について理解できる
4回目	呼吸とに発声に無理・無駄がないか理解できる
5回目	柔軟性の重要性について理解できる
6回目	身体表現とは何かを理解できる
7回目	柔軟性と身体表現がつながっているを理解できる
8回目	台本・台詞を考察することができる①
9回目	台本・台詞を考察することができる②
10回目	台本・台詞を考察することができる③
11回目	ミュージカルナンバーを使い、呼吸法・発声法の実習を行い、習得する
12回目	ミュージカルナンバーを使い、身体表現の実習を行い、習得する
13回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する②
15回目	前期テストを行う
準備学習 時間外学習	呼吸法・発声法・柔軟性は日々行うことが不可欠です。 授業内だけではなく、自分でも毎日実施し、少しずつ向上させる必要があります。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	ミュージカルは身体を酷使する芸術です。 基礎をしっかり作り、怪我なく授業が受けられるよう体調管理に気を付けてください。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          ミュージカル「ライオンキング」他</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	脚本・シナリオ制作 ( Scenario interpretation )	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ミュージカルに必要な歌唱・ダンス・演技を総合的に学ぶ。          この3つの要素を単体として捉えず、全てを融合させることを学ぶことにより、即戦力となり得るミュージカル俳優としての実力・テクニックを身につけることができる。          ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。          その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          歌唱・ダンス・演技をミュージカル台本を用いて学ぶ。          目標①自分の言葉として歌詞を理解し、歌唱へと発展させることができる          目標②自分の感情を身体表現へと発展させることができる          目標③与えられた台詞を自分なりに具体的に読み取り、表現へと発展させることができる          目標④オリジナルミュージカルの公演を行う</p>							

授業計画・内容	
1回目	歌唱・ダンス・演技について、自分に足りていないものが理解できる
2回目	歌詞について理解できる
3回目	メロディーについて理解できる
4回目	歌詞とメロディーを自分の言葉・感情として理解できる
5回目	ダンスの必要性について理解できる
6回目	自分の感情として身体で表現できる
7回目	人物像を深く掘り下げ考察することができる
8回目	役としての言葉で台詞を表現できる
9回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する①
10回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する②
11回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する①
12回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する②
13回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する②
15回目	後期テストの実施を行う
準備学習 時間外学習	歌・ダンス・演技を全て授業時間内で覚えてしまうことは、非常に難しいです。 授業時間外でも、暗譜・ストレッチ・考察することが必要です。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	少し慣れてくると、体・のどなど、怪我をしやすくなります。 基本発生やストレッチは自分を守ってくれますので、日々行うよう心掛けてください。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          ミュージカル「アラジン」他</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	脚本・シナリオ制作 ( Scenario interpretation )	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ミュージカルに必要な発声・身体・思考力を総合的に学ぶ。          この3つの要素を単体として捉えるのではなく、融合させることを学ぶことにより、ミュージカル俳優としての基礎力を身につけることができる。          ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。          その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ミュージカル台本を用いて、呼吸法(腹式)・発声法・柔軟性・考察力を学ぶ。          目標①無理のないスムーズな発声や大きな声を出すことができる          目標②自分が思い描く身体表現ができる          目標③自分の演技プランを具現化できる</p>							

授業計画・内容	
1回目	ミュージカルに必要なもので、且つ自分に足りないものが理解できる。
2回目	呼吸法について理解できる。
3回目	発声法について理解できる。
4回目	呼吸とに発声に無理・無駄がないか理解できる。
5回目	柔軟性の重要性について理解できる。
6回目	身体表現とは何かを理解できる。
7回目	柔軟性と身体表現がつながっているを理解できる。
8回目	台本・台詞を考察することができる①
9回目	台本・台詞を考察することができる②
10回目	台本・台詞を考察することができる③
11回目	ミュージカルナンバーを使い、呼吸法・発声法の実習を行い、習得する。
12回目	ミュージカルナンバーを使い、身体表現の実習を行い、習得する。
13回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する②
15回目	前期テストの実施を行う
準備学習 時間外学習	呼吸法・発声法・柔軟性は日々行うことが不可欠です。 授業内だけではなく、自分でも毎日実施し、少しずつ向上させる必要があります。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	ミュージカルは身体を酷使する芸術です。 基礎をしっかりと作り、怪我なく授業が受けられるよう体調管理に気を付けてください。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          ミュージカル「ライオンキング」他</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	脚本・シナリオ制作 ( Scenario interpretation )	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日5・6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ミュージカルに必要な歌唱・ダンス・演技を総合的に学ぶ。          この3つの要素を単体として捉えず、全てを融合させることを学ぶことにより、即戦力となり得るミュージカル俳優としての実力・テクニックを身につけることができる。          ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。          その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          歌唱・ダンス・演技をミュージカル台本を用いて学ぶ。          目標①自分の言葉として歌詞を理解し、歌唱へと発展させることができる          目標②自分の感情を身体表現へと発展させることができる          目標③与えられた台詞を自分なりに具体的に読み取り、表現へと発展させることができる          目標④オリジナルミュージカルの公演を行う</p>							

授業計画・内容	
1回目	歌唱・ダンス・演技について、自分に足りていないものが理解できる
2回目	歌詞について理解できる
3回目	メロディーについて理解できる
4回目	歌詞とメロディーを自分の言葉・感情として理解できる
5回目	ダンスの必要性について理解できる
6回目	自分の感情として身体で表現できる
7回目	人物像を深く掘り下げ考察することができる
8回目	役としての言葉で台詞を表現できる
9回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する①
10回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する②
11回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する①
12回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する②
13回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する②
15回目	後期テストの実施を行う
準備学習 時間外学習	歌・ダンス・演技を全て授業時間内で覚えてしまうことは、非常に難しいです。 授業時間外でも、暗譜・ストレッチ・考察することが必要です。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	少し慣れてくると、体・のどなど、怪我をしやすくなります。 基本発生やストレッチは自分を守ってくれますので、日々行うよう心掛けてください。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          ミュージカル「アラジン」他</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。          ※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、          "日本一ティーンに観られている、"と言えるほどの舞台演出家です。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンをを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          毎回基本的なウォーミングアップから始める。都度、演技力を高める訓練をし、演劇作りを通して基礎力と適応能力を養う。          ※実務者経験: 1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          役者の根本となる基礎力を養い、個と公の力を高め、全ての授業の集大成とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにて公演のコンセプトと内容について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに演技のオーディションを行う①
5回目	各役ごとに演技のオーディションを行う②
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	作品の背景、時代考証などを調べておく。
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          公演台本</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	卒業公演 (Graduation performance)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日3～6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。</p> <p>※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、「日本一ティーンに観られている」と言えるほどの舞台演出家です。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。 パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンをを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をする
11回目	リハーサル～公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	卒業公演本番1回目を行う
15回目	卒業公演本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	卒業公演 (Graduation performance)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日1~6限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。与えられた役の練習、その公演。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、本校姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> ①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 ②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト) ③コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方(読み方)を理解できるようになる
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、作品を理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い作品が理解できるようになる
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／配役を決めるためのオーディションを行う
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを探り、理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行いながらイメージを持ち、どう動かかを理解する。小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み。通して読み、流れ、動きを考え理解する
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古。演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古。小道具・衣装を用意し、シーンをより深く理解する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古。止めながらも、通し稽古が出来るようになる
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古。音響・照明スタッフも入り本番と同じ状況で通し稽古を行い、公演のイメージを深める。
12回目	劇場にて仕込みを行い、外部ホールでの活動を学び理解する。
13回目	劇場にて場当たり、通し稽古を行う。
14回目	劇場にて公演を行う。
15回目	反省会を行う、今後役に立てる
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。台本下調べ(時代背景・漢字等) セリフ・動きを覚える
評価方法	①到達目標における授業内成果(50%) ②公演の結果(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 日本語の文法、卒業公演のための脚本	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1限

## 【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。

☒米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

## 【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

## 授業計画・内容

1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造(1)／日本のレコード産業・全体像□	
2回目	音楽業界の構造(2)／日本レコード協会・JASRAC□	
3回目	著作権の基礎(1)概要／構造	
4回目	著作権の基礎(2)歴史／現在□	
5回目	アーティストの権利／印税とは	
6回目	収入シミュレーション(CD販売)	
7回目	収入シミュレーション(ダウンロード／音楽配信)	
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分□	
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など	
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち	
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権	
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(1)	
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(2)	
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察	
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□	
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)		

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	金曜日1限

## 【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。  
 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

## 【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

## 授業計画・内容

1回目	音楽業界の構造・応用編(1) □	
2回目	音楽産業の構造・応用編(2) □	
3回目	著作権の必須知識／使える著作権	
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(1) □	
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(2)	
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(1)	
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(2) □	
8回目	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情 □	
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み □	
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)		

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	講義／発声(メカニズム)について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声(イエアオウ)が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声(ウラ声・オモテ声)が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ(リーダーによる)発声・滑舌(外郎売)が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(外郎売り)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(戯曲セリフを抜粋)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 ( vocalization & articulation )	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日1限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本語の発音の仕組みを明らかにし、理解し、各自が明瞭に発音出来るように課題を通して毎回点検を行う。毎回準備運動として口慣らし体操、早口言葉、外郎売りなどを行う。 ※実務者経験: 姉妹校OSM卒業生。在校中からナレーションやオーディションドラマといった声の仕事や俳優として舞台を中心に活動を開始。その後「劇団俳優座」でも演技を学び、みずから出演する舞台企画、制作をしている。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>①言葉を歯切れよく、一音一音はつきりと発音してしゃべることが出来るようになること。 ②音を作る(調音)を理解し、自身で確認できること ③文章やセリフを、内容を踏まえて意味も音も明確に発音することが出来るようになること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自分の名前を発音する。母音と子音について概略を解説を行い理解出来るようになる①
2回目	自分の名前を発音する。母音と子音について概略を解説を行い理解出来るようになる②
3回目	母音の調音について解説。例文・短文を用いて、主に母音の点検を行い理解出来るようになる①
4回目	母音の調音について解説。例文・短文を用いて、主に母音の点検を行い理解出来るようになる②
5回目	カ行、ガ行、鼻濁音、キャ行、ギャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
6回目	サ行、ザ行、シャ行、ジャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
7回目	タ行、ダ行、チャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
8回目	ナ行、ニヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
9回目	ハ行、バ行、パ行、ヒヤ行、ピヤ行、ビヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
10回目	マ行、ミヤ行、ヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
11回目	ラ行、リヤ行、ワ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
12回目	外来語、撥音、促音、長音の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる①
13回目	外来語、撥音、促音、長音の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる②
14回目	総合点検と、夏季休暇の課題の解説と、個々の解決方法の解明と指示を行う
15回目	実技試験を行う。
準備学習 時間外学習	課題配布は使用前週に行い、自宅で発音練習をして準備をする。自宅練習は個々で差はあるものの、おおむね30分~1時間ほど。この授業内だけでなく、他科目においても滑舌がよくなるのが重要。日常生活全てが基本と繋がっている事を意識して訓練を行う。
評価方法	毎週が小テストの連続の為、評価は平常点という形で出せません。 ですが、実践の現場に対応する為に、あえて学期末に実技試験を行う。 ①定期試験(80%) ②小テスト(20%)
受講生への メッセージ	開始時点では特に個人差がありますが、決して諦めず目の前の課題を丁寧にクリアすること。 基本訓練の一つなので、妥協せず、取り組んで下さい。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b></p> <p>筆記用具、配布課題、手鏡</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 ( vocalization & articulation )	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本語の発音の仕組みを明らかにし、理解し、各自が明瞭に発音出来るように課題を通して毎回点検を行う。毎回準備運動として口慣らし体操、早口言葉、外郎売りなどを行う。 ※実務者経験: 姉妹校OSM卒業生。在校中からナレーションやオーディションドラマといった声の仕事や俳優として舞台を中心に活動を開始。その後「劇団俳優座」でも演技を学び、みずから出演する舞台企画、制作をしている。							
<b>【到達目標】</b> ①言葉を歯切れよく、一音一音はつきりと発音してしゃべることが出来るようになること。 ②音を作る(調音)を理解し、自身で確認できること ③文章やセリフを、内容を踏まえて意味も音も明確に発音することが出来るようになること。							

授業計画・内容	
1回目	自分の名前を発音する。母音と子音について概略を解説を行い理解出来るようになる①
2回目	自分の名前を発音する。母音と子音について概略を解説を行い理解出来るようになる②
3回目	母音の調音について解説。例文・短文を用いて、主に母音の点検を行い理解出来るようになる①
4回目	母音の調音について解説。例文・短文を用いて、主に母音の点検を行い理解出来るようになる②
5回目	カ行、ガ行、鼻濁音、キャ行、ギャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
6回目	サ行、ザ行、シャ行、ジャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
7回目	タ行、ダ行、チャ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
8回目	ナ行、ニヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
9回目	ハ行、バ行、パ行、ヒヤ行、ピヤ行、ビヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
10回目	マ行、ミヤ行、ヤ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
11回目	ラ行、リヤ行、ワ行の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる
12回目	外来語、撥音、促音、長音の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる①
13回目	外来語、撥音、促音、長音の解説と点検を行い正しい発音が出来ようになる②
14回目	総合点検と、夏季休暇の課題の解説と、個々の解決方法の解明と指示を行う
15回目	実技試験を行う。
準備学習 時間外学習	課題配布は使用前週に行い、自宅で発音練習をして準備をする。自宅練習は個々で差はあるものの、おおむね30分~1時間ほど。この授業内だけでなく、他科目においても滑舌がよくなるのが重要。日常生活全てが基本と繋がっている事を意識して訓練を行う。
評価方法	毎週が小テストの連続の為、評価は平常点という形で出せません。 ですが、実践の現場に対応する為に、あえて学期末に実技試験を行う。 ①定期試験(80%) ②小テスト(20%)
受講生への メッセージ	開始時点では特に個人差がありますが、決して諦めず目の前の課題を丁寧にクリアすること。 基本訓練の一つなので、妥協せず、取り組んで下さい。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 筆記用具、配布課題、手鏡	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日2・3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方(読み方)を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日2・3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャストイング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一歩一歩進んでゆくことが大切です。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 日本語の文法、分例 公演のための脚本	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台メイク (Stage makeup)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜日2・3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声優・俳優・タレントとして必要不可欠なオーディション時の表現、自分自身のアピール方法を身につける。 また本来の自分を良く見せるための自己表現を取得する。 ※実務経験: タレント事務所(株)NTB所属、ラジオ番組、ニュース、イベント司会など継続中。							
<b>【到達目標】</b> 自分自身をアピールする上で他の人との違い、特性を生かした自己PRを習得する。 <具体的な目標> 緊張感のある中でもしっかりとアピールが出来る。他の人との違いを出すことが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	自分自身の魅力を知る事で出来るようになる①
2回目	自分自身の魅力を知る事で出来るようになる②
3回目	短いアピール時間の組み立てをする事が出来るようになる①
4回目	短いアピール時間の組み立てをする事が出来るようになる②
5回目	印象づける為のアピールをする事が出来るようになる①
6回目	印象づける為のアピールをする事が出来るようになる②
7回目	日常の出来事の中から自分自身の視点を持ったアピールが出来るようになる①
8回目	日常の出来事の中から自分自身の視点を持ったアピールが出来るようになる②
9回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる①
10回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる②
11回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる③
12回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる①
13回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる②
14回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる③
15回目	前期末テストを行う
準備学習 時間外学習	日常生活の中で、多くのものに興味を持てるように意識をしてください。 自己発見、他者を観察。
評価方法	●出席・授業への取り組み(70%) ●実技テスト(30%) の割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	自分自身のことを良く知ることでアピールしやすくしていく。 表現の仕方、言葉の使い方によって内容が同じでも魅力の伝わり方が違うことを学ぶ。
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台メイク (Stage makeup)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜日2・3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声優・俳優・タレントとして発信する立場から、番組などでの話を進め方、言葉の選択などを身につけることによって、進行をすることが出来るようになる。また本来の自分を良く見せるための自己表現を取得する。 ※実務経験: タレント事務所(株)NTB所属、ラジオ番組、ニュース、イベント司会など継続中。							
<b>【到達目標】</b> 番組進行の上で必要な話のスキルを身につける。 <具体的な目標> 時間の使い方、言葉の選択のバリエーションを増やしていく。							

授業計画・内容	
1回目	ラジオブースの中での感覚を身につけることが出来るようになる①
2回目	ラジオブースの中での感覚を身につけることが出来るようになる②
3回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる①
4回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる②
5回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる③
6回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる①
7回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる②
8回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる③
9回目	番組内でのお知らせ原稿をトークの合間に出せるようになる①
10回目	番組内でのお知らせ原稿をトークの合間に出せるようになる②
11回目	瞬発力で反応、言葉を出していくことで出来るようになる①
12回目	瞬発力で反応、言葉を出していくことで出来るようになる②
13回目	一人で進行することが出来るようになる①
14回目	一人で進行することが出来るようになる②
15回目	後期末テストを行う
準備学習 時間外学習	日常生活の中で、多くのものに興味を持てるように意識してください。 自己発見、他者を観察。
評価方法	●出席・授業への取り組み(70%) ●実技テスト(30%) の割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	まずは話す事を楽しんで下さい。 自分自身も、聴いている人も興味を持てる話の選択が出来るようにしてください。 また日常の感覚も磨いていけるように。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 実際の現場で使用した原稿などを使用。	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台メイク (Stage makeup)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜日4・5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声優・俳優・タレントとして必要不可欠なオーディション時の表現、自分自身のアピール方法を身につける。 また本来の自分を良く見せるための自己表現を取得する。 ※実務経験: タレント事務所(株)NTB所属、ラジオ番組、ニュース、イベント司会など継続中。							
<b>【到達目標】</b> 自分自身をアピールする上で他の人との違い、特性を生かした自己PRを習得する。 <具体的な目標> 緊張感のある中でもしっかりとアピールが出来る。他の人との違いを出すことが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	自分自身の魅力を知る事で出来るようになる①
2回目	自分自身の魅力を知る事で出来るようになる②
3回目	短いアピール時間の組み立てをする事が出来るようになる①
4回目	短いアピール時間の組み立てをする事が出来るようになる②
5回目	印象づける為のアピールをする事が出来るようになる①
6回目	印象づける為のアピールをする事が出来るようになる②
7回目	日常の出来事の中から自分自身の視点を持ったアピールが出来るようになる①
8回目	日常の出来事の中から自分自身の視点を持ったアピールが出来るようになる②
9回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる①
10回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる②
11回目	質問に対して、的確に、わかりやすく答える事が出来るようになる③
12回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる①
13回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる②
14回目	表現の中での間の取り方、スピード、強弱をつける事が出来るようになる③
15回目	前期末テストを行う
準備学習 時間外学習	日常生活の中で、多くのものに興味を持てるように意識をしてください。 自己発見、他者を観察。
評価方法	●出席・授業への取り組み(70%) ●実技テスト(30%) の割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	自分自身のことを良く知ることでアピールしやすくしていく。 表現の仕方、言葉の使い方によって内容が同じでも魅力の伝わり方が違うことを学ぶ。
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台メイク (Stage makeup)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	木曜日4・5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声優・俳優・タレントとして発信する立場から、番組などでの話を進め方、言葉の選択などを身につけることによって、進行をすることが出来るようになる。また本来の自分を良く見せるための自己表現を取得する。 ※実務経験:タレント事務所(株)NTB所属、ラジオ番組、ニュース、イベント司会など継続中。							
<b>【到達目標】</b> 番組進行の上で必要な話のスキルを身につける。 <具体的な目標> 時間の使い方、言葉の選択のバリエーションを増やしていく。							

授業計画・内容	
1回目	ラジオブースの中での感覚を身につけることが出来るようになる①
2回目	ラジオブースの中での感覚を身につけることが出来るようになる②
3回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる①
4回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる②
5回目	二人で話す時の、話の入り方、相づち、バランスをとることが出来るようになる③
6回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる①
7回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる②
8回目	メッセージに対して自分自身の答え、意見をしっかり持ち表現することが出来るようになる③
9回目	番組内でのお知らせ原稿をトークの合間に出せるようになる①
10回目	番組内でのお知らせ原稿をトークの合間に出せるようになる②
11回目	瞬発力で反応、言葉を出していくことで出来るようになる①
12回目	瞬発力で反応、言葉を出していくことで出来るようになる②
13回目	一人で進行することが出来るようになる①
14回目	一人で進行することが出来るようになる②
15回目	後期末テストを行う
準備学習 時間外学習	日常生活の中で、多くのものに興味を持てるように意識してください。 自己発見、他者を観察。
評価方法	●出席・授業への取り組み(70%) ●実技テスト(30%) の割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	まずは話す事を楽しんで下さい。 自分自身も、聴いている人も興味を持てる話の選択が出来るようにして下さい。 また日常の感覚も磨いていけるように。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 実際の現場で使用した原稿などを使用。	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台機構 (Stage mechanism)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭 実
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日3・4限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 舞台の基本的な構造から、いろいろな劇場での舞台機構、またダンサー、アクターに必要な用語、知識を学びます。</p> <p>※実務者経験: 演出家。日本演出者協会会員。姉妹校OSM卒業後上京。シェイクスピアシアター附属演技研究所演出部で出口典雄に師事。その後、俳優の山本真と劇団Past Time With Good Companyを旗揚げ。企画・演出を担当。古典から現代劇まで幅広く演出。タレントスクール、専門学校などで講師も務め、人材育成に勤しむ。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>目標①舞台機構の名称を知る。 目標②舞台機構をすることで、安全なステージパフォーマンスが行えるようにする。 目標③自主公演などで、作品のテーマ性を伝えられるように、またお客様にとって見やすい環境を作れるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	舞台機構を学び、理解できるようになる① ※上手・下手・舞台袖、舞台端、中、奥、幕の名称などを知る。
2回目	舞台機構を学び、理解できるようになる② ※尺貫法を学び、舞台の間口、ナンバリングのつけ方を学ぶ。
3回目	舞台機構を学び、理解できるようになる③ ※平台、箱馬、人形立てなどの道具を知り、実際の触ってみる。
4回目	舞台機構を学び、理解できるようになる④ ※平台、箱馬、人形立てなどの道具を使って、ステージを作ってみる。
5回目	舞台機構を学び、理解できるようになる⑤ ※幕の吊り方、のこぎりやナグリ、釘、インパクトなどの使い方を学ぶ。
6回目	学園祭にてスタジオ発表用のステージを組む。 ※お客様からの見切れ、出はけを考えて幕の介錯などが出来るようになる。
7回目	平面図が書けるようになる①
8回目	平面図が書けるようになる②
9回目	実際のステージを組み、あらゆる演目に対応できるようになる① ※基本的なプロセニウムアーチで考えて組む。
10回目	実際のステージを組み、あらゆる演目に対応できるようになる② ※エプロンステージを組む。
11回目	実際のステージを組み、あらゆる演目に対応できるようになる③ ※センターステージで考えた客席の組み方。
12回目	基本的なエレベーションが書けるようになる①
13回目	基本的なエレベーションが書けるようになる②
14回目	前期振り返りを行う。
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	劇場に公演を観に行くなど、日常からステージに触れる。
評価方法	①課題成果(30%) ②試験(70%)
受講生への メッセージ	まずは基本的な用語、舞台の組み方を学びます。 設営などの際は、安全面を優先に。お互いの声をかけて行いましょう。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b></p> <p>舞台の設営道具 配布資料</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	舞台機構 (Stage mechanism)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭 実
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 舞台の基本的な構造から、いろいろな劇場での舞台機構、またダンサー、アクターに必要な用語、知識を学びます。  ※実務者経験: 演出家。日本演出者協会会員。姉妹校OSM卒業後上京。シェイクスピアシアター附属演技研究所演出部で出口典雄に師事。その後、俳優の山本真と劇団Past Time With Good Companyを旗揚げ。企画・演出を担当。古典から現代劇まで幅広く演出。タレントスクール、専門学校などで講師も務め、人材育成に勤しむ。							
<b>【到達目標】</b> 目標①舞台機構の名称を知る。 目標②舞台機構をすることで、安全なステージパフォーマンスが行えるようにする。 目標③自主公演などで、作品のテーマ性を伝えられるように、またお客様にとって見やすい環境を作れるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	様々な芸能の舞台機構を知る① ※ライブでの舞台美術、特殊効果を、写真や動画を参照に知る。
2回目	様々な芸能の舞台機構を知る② ※映画やTVドラマでのセットでの舞台美術、特殊効果を、写真や動画を参照に知る。
3回目	様々な芸能の舞台機構を知る③ ※日本の古典芸能での舞台美術、特殊効果を、写真や動画を参照に知る。
4回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える① ※課題: ダンスパフォーマンスとしてテーマを決める。
5回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える① ※平面図、エレベーションを書く。
6回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える① ※平面図、エレベーションを書く。
7回目	4~6週で考えてきた美術セットを発表、プレゼンテーションが出来るようになる。
8回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える② ※課題: 演劇、戯曲決定。
9回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える② ※平面図、エレベーションを書く。
10回目	作品のテーマをもとに舞台美術を考える② ※平面図、エレベーションを書く。
11回目	8~10週で考えてきた美術セットを発表、プレゼンテーションが出来るようになる。
12回目	テストを行う。
13回目	We are NSM! (進級・卒業制作展)に向けて、プランを考え、準備をする①
14回目	We are NSM! (進級・卒業制作展)に向けて、プランを考え、準備をする②
15回目	We are NSM! (進級・卒業制作展)に向けて、プランを考え、準備をする③
準備学習 時間外学習	劇場に公演を観に行くなど、日常からステージに触れる。 作品をもとに、舞台機構を考えていきますので、テーマに沿って考えてくる、また課題作品を読み込むことが必要です。
評価方法	①課題成果(30%) ②試験(70%)
受講生への メッセージ	まずは基本的な用語、舞台の組み方を学びます。 設営などの際は、安全面を優先に。お互いの声をかけて行いましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 舞台の設営道具 配布資料	